

**世田谷区における多文化共生に関するアンケート調査
報告書**

令和8（2026）年10月

世田谷区

1 概要

(1) 調査目的

区では「世田谷区第二次多文化共生プラン」(以下、「第二次プラン」という。)を策定し、日本人住民と外国人住民が互いに理解し合い、ともに安心して暮らせるまちの実現に向けて、多文化共生施策を推進している。

本アンケートは、日本人区民 5,000 名を対象とし、多文化共生に関する意識や実態を把握するとともに、第二次プランにおいて数値目標として設定している項目の進捗状況を検証し、今後の多文化共生施策のさらなる充実に向けた基礎資料とすることを目的として実施した。

(2) 調査地域

世田谷区全域

(3) 調査対象・対象数

令和 8 年 4 月 1 日時点で世田谷区内に居住する 15 歳以上の日本国籍を有する区民 5,000 人

(4) 抽出方法

住民基本台帳から無作為抽出

(5) 回答方法

調査票の郵送による回答またはオンラインによる回答

(6) 調査期間

令和 8 (2026) 年 6 月 20 日 (土) ~ 7 月 13 日 (月)

(7) 調査項目

回答者の属性、多文化共生に対する意識等で 12 問 (枝番含む)

(8) 配布数・回収数・回収率

配布数 . . . 5,000 件 (未着 26 件)

有効回収数 . . . 1,642 件

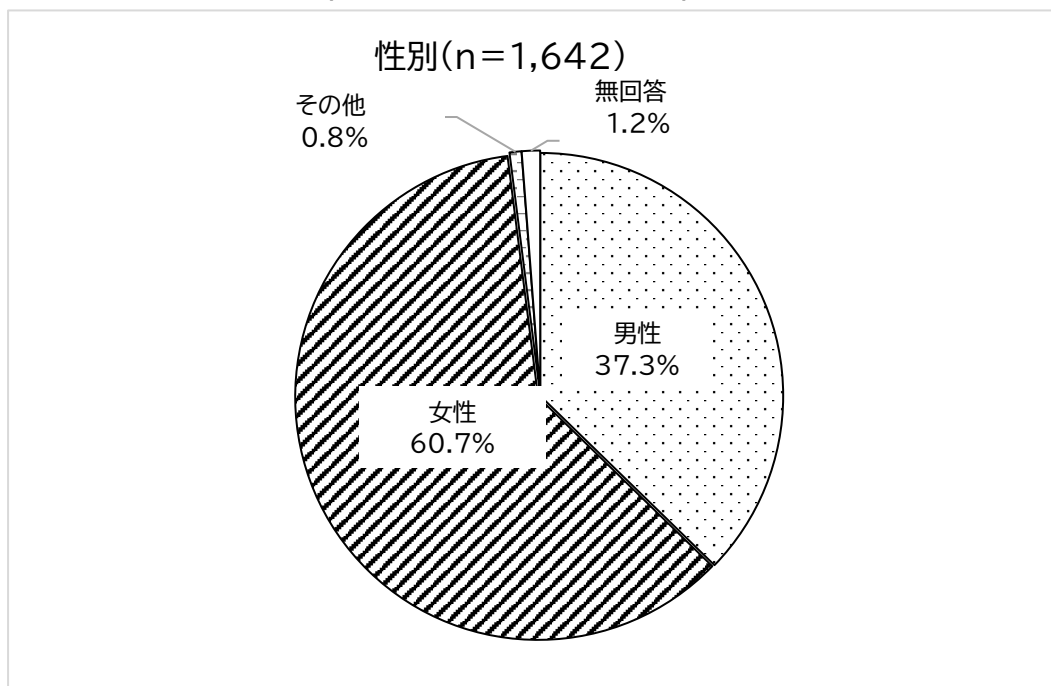
有効回収率 . . . 33.0%

3 調査結果

あなた（回答者）について

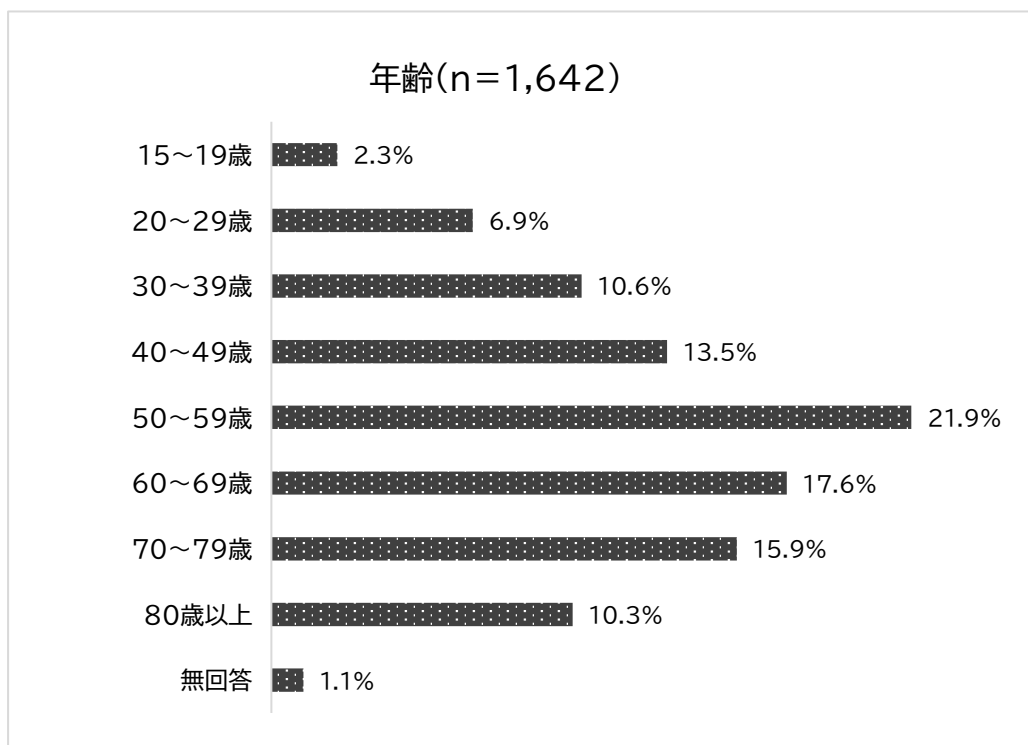
（１）性別

【F 1. あなたの性別（性自認）はどれですか（１つに○）。】



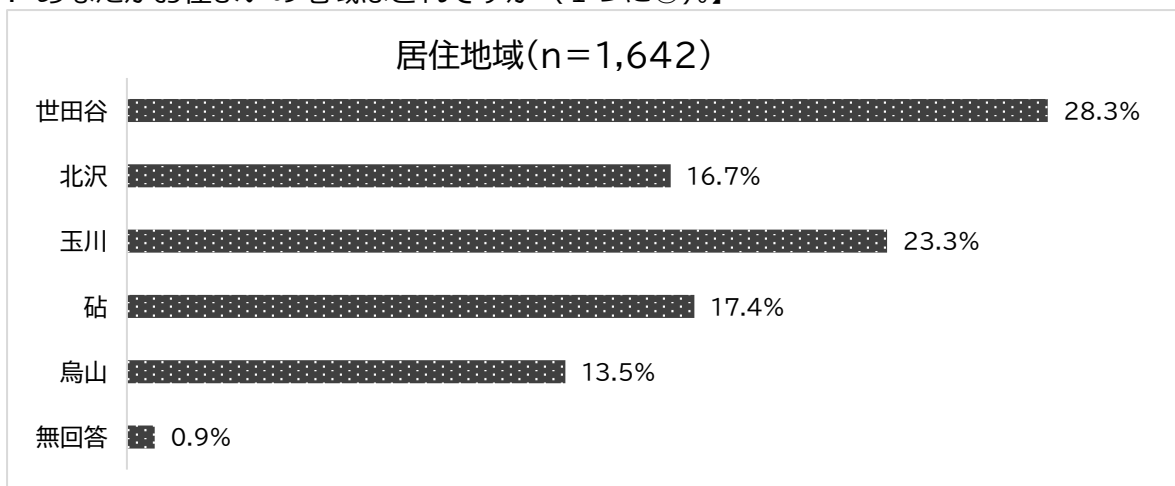
（２）年齢

【F 2. あなたの年齢はどれですか（１つに○）。】



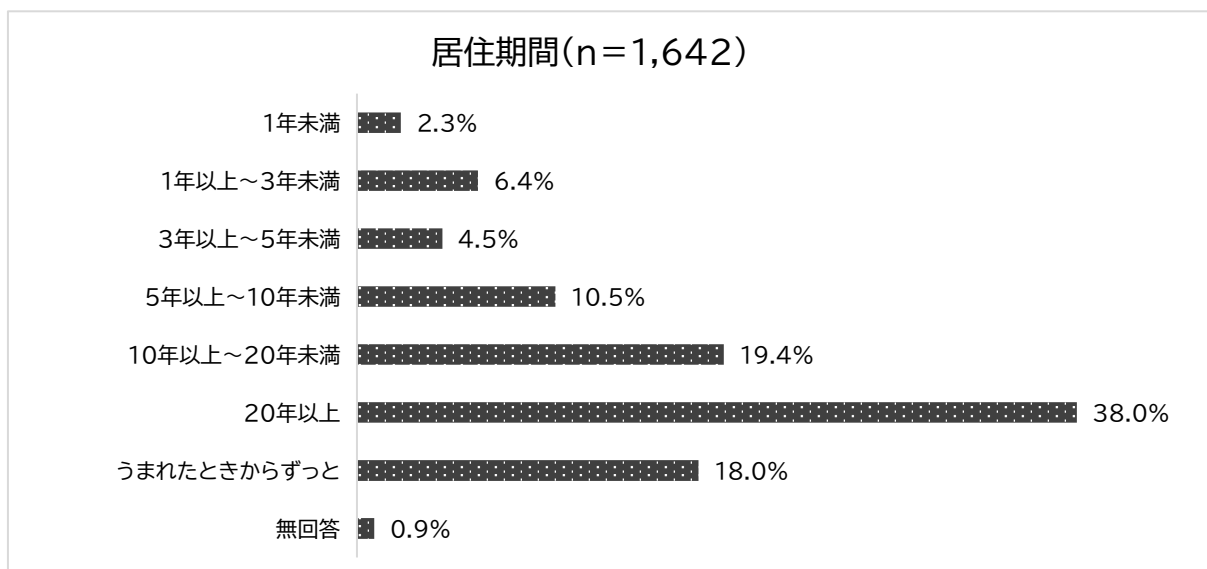
(3) 居住地域

【F 3. あなたがお住まいの地域はどれですか（1つに○）。】



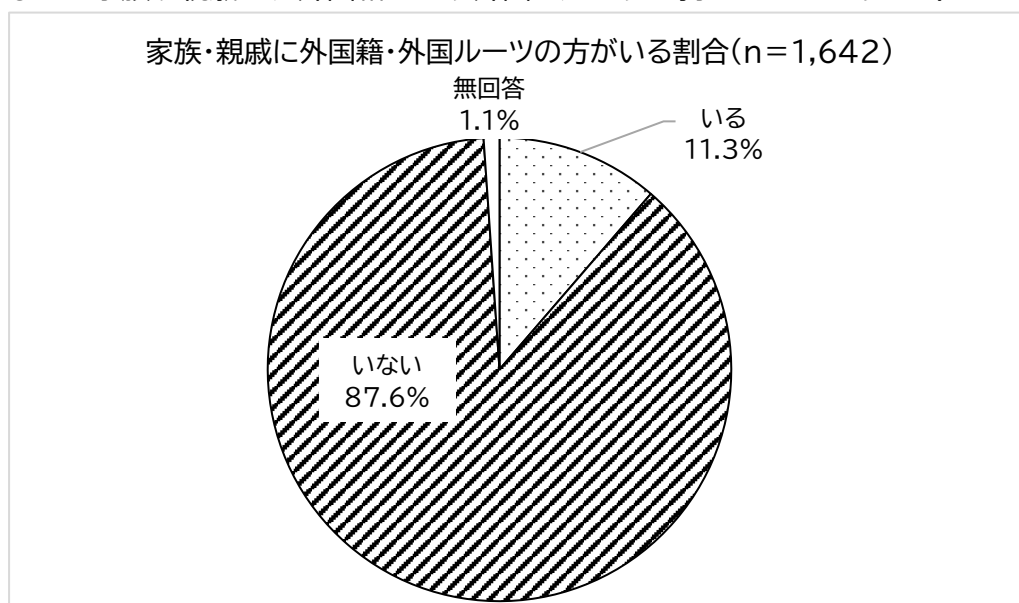
(4) 居住期間

【F 4. あなたは世田谷区に住んで何年になりますか（1つに○）。】



(5) 外国籍の方や外国にルーツを持つ方との関係

【F 5. あなたの家族や親戚に、外国籍の方や外国にルーツを持つ方はいますか（1つに○）。】

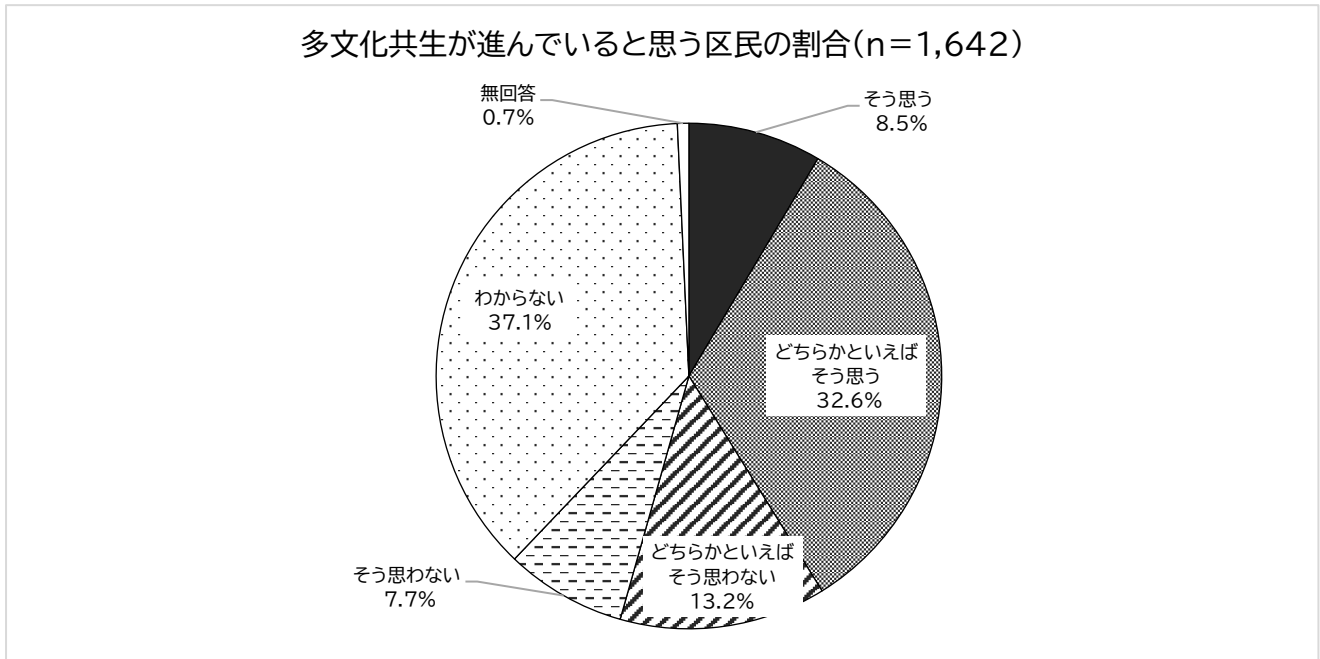


3 多文化共生のまちづくり

(1) 多文化共生の推進状況

【Q1. あなたは、区内において、「多文化共生」が進んでいると思いますか（1つに○）。

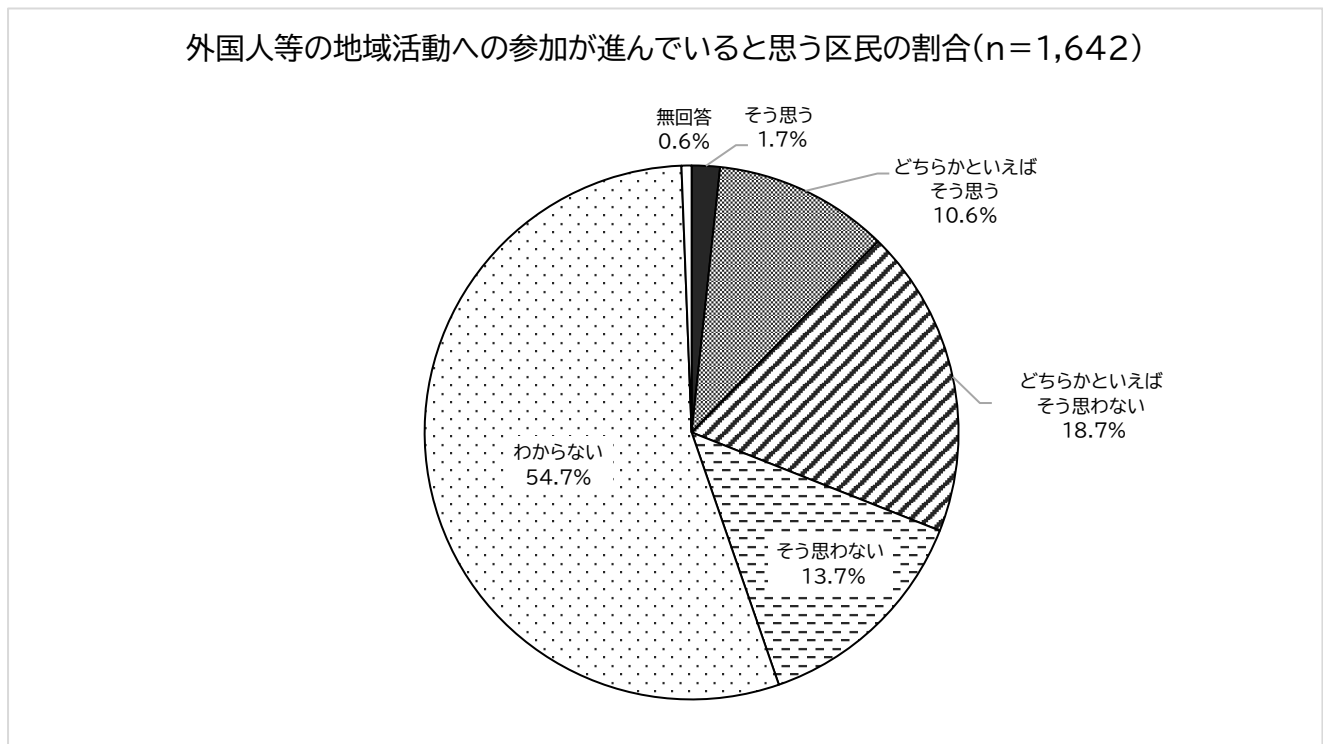
※「多文化共生」とは、全ての人が、国籍、民族等の異なる人々の互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、共に生きていくことを言います。（「世田谷区第二次多文化共生プラン」より引用）】



【(A) なぜそう思いましたか。】※別紙

(2) 外国人等の地域活動への参加状況

【Q2. あなたは、区内において、外国人等の地域活動への参加が進んでいると思いますか（1つに○）。】

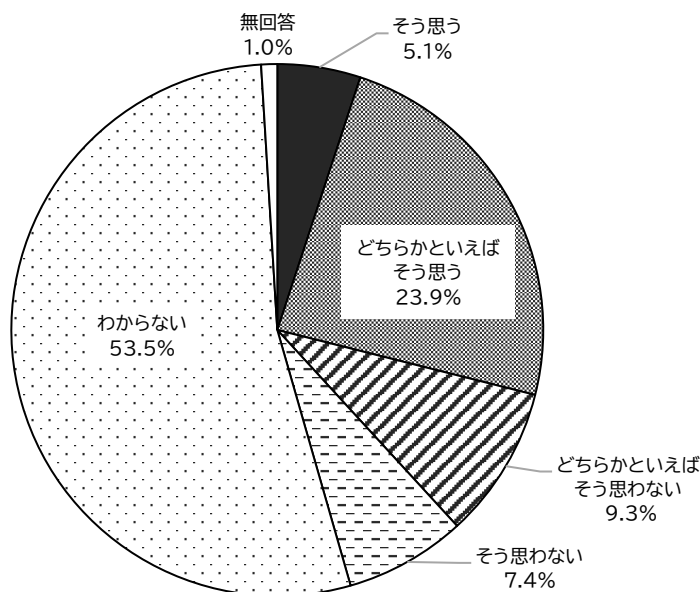


【(A) なぜそう思いましたか。】※別紙

(3) 外国人等に対する偏見や差別

【Q 3. あなたは、区内において、外国人等に対する偏見や差別が減少していると思いますか（1つに○）。】

外国人等に対する偏見や差別が減っていると思う区民の割合(n=1,642)

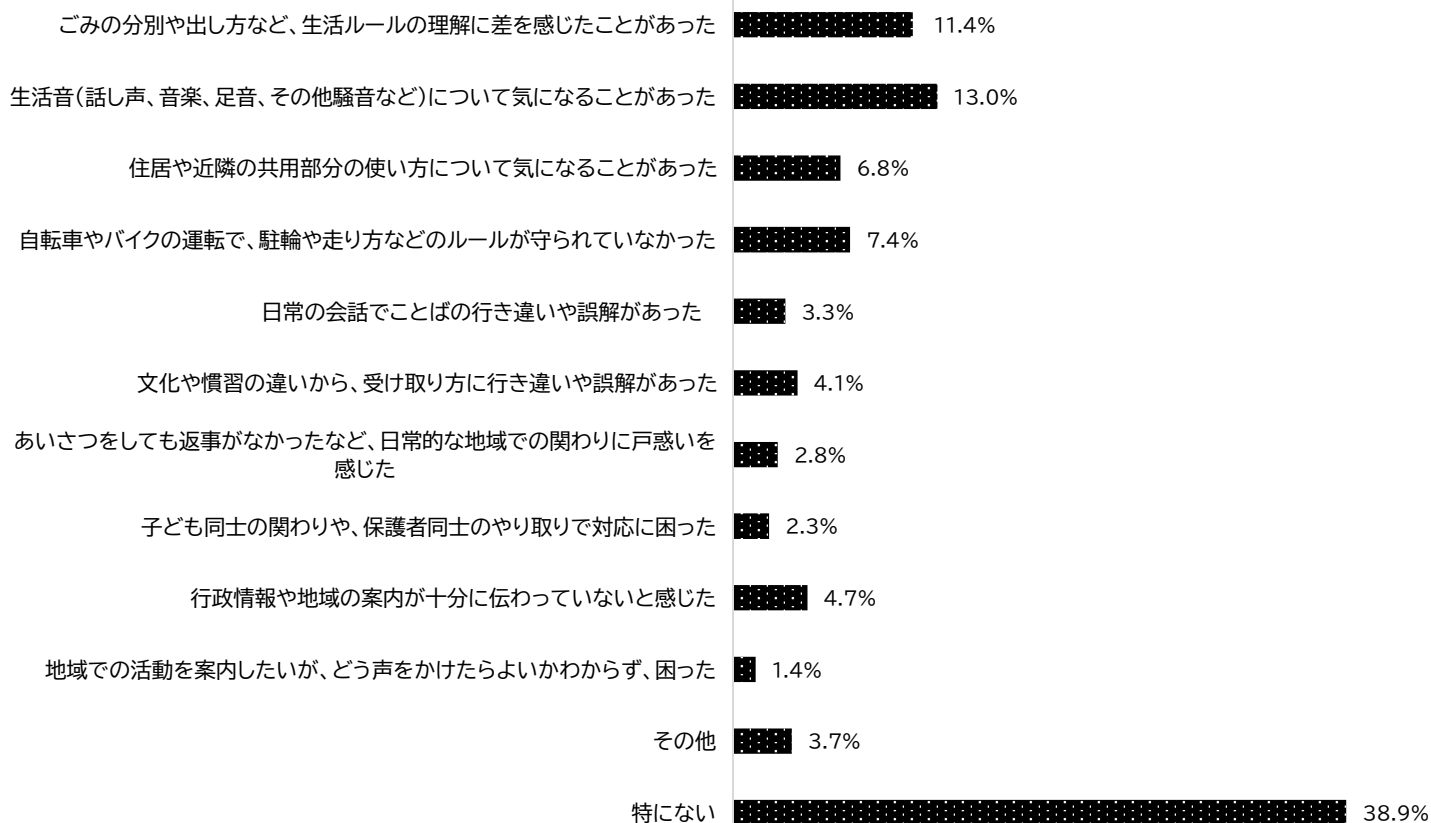


【(A) なぜそう思いましたか。】※別紙

(4) 外国人住民との関わりで生じた困りごとや戸惑いの経験

【Q 4. これまでに、外国人住民とのあいだで困った経験や戸惑ったことがあった場合、その内容としてあてはまるものを選んでください（あてはまるものすべてに○）。】

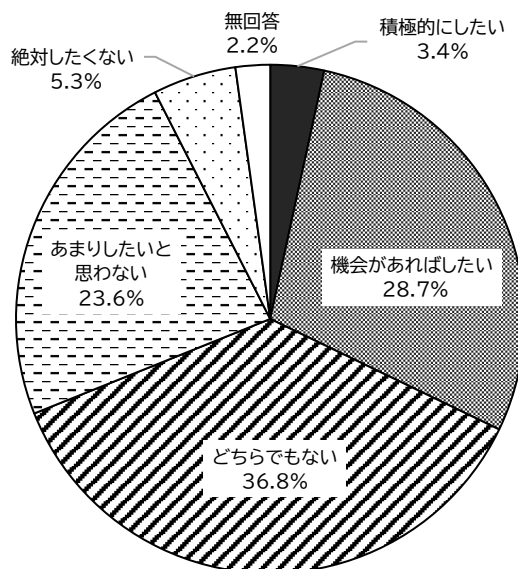
外国人住民との間で困った経験・戸惑った経験(複数回答 n=2,436)



(5) 外国にルーツを持つ方への支援意欲

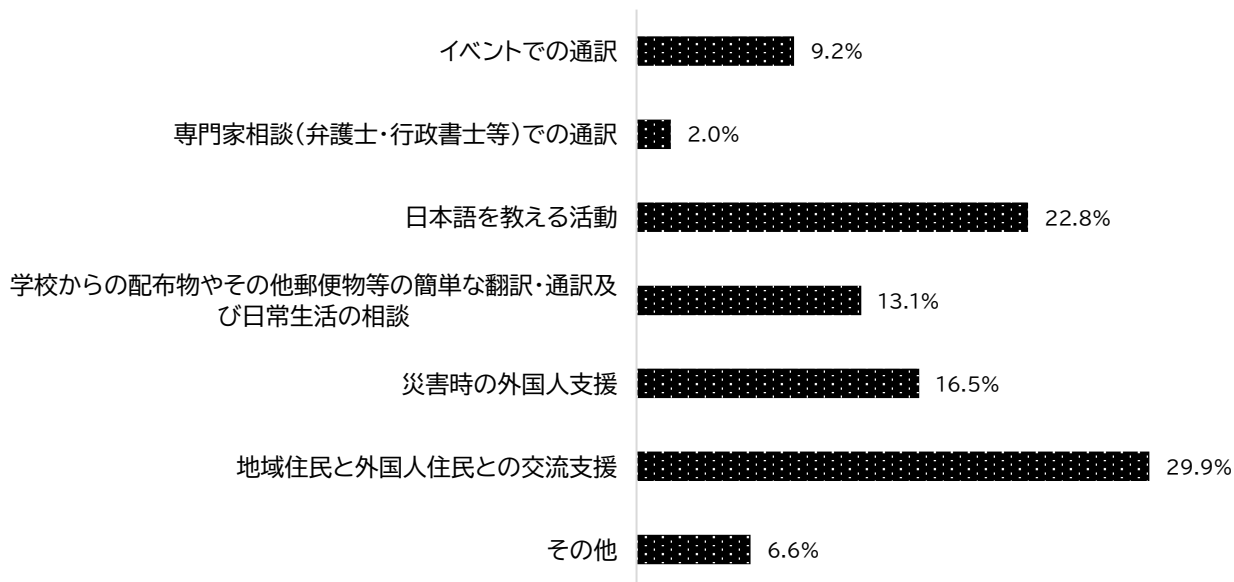
【Q5. 今後ボランティアとして、外国にルーツを持つ方への支援をしたいと思いますか（1つに○）。】

外国にルーツを持つ方への支援活動の希望(n=1,642)



【(A) Q5で「積極的にしたい」「機会があればしたい」と選択された方にお聞きします。どのような支援をしたいですか（あてはまるもの全てに○）。】

希望する支援活動の内容(複数回答 n=948)



(6) 意見や要望

【Q6. 「多文化共生」について、ご意見等がありましたらご記入ください。】

※別紙

【Q1.(A) 「区内において『多文化共生』が進んでいると思いますか」という質問に対し、「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」を選択した方の回答】（全 676 件のうち一部抜粋）

日常的に町中で外国人と思われる方を見かけるが、特に問題なく過ごしていると思う。
あたりまえに外国人がいる環境になっているので、特に不平等な感じはしないので。
孫のクラスに多いから。これからは海外に行かなくても文化を知れる。
国籍が違ってても居住する日本の文化をリスペクトして永住しようとする人々は、居住者として差別すべきではないと思うので。
そもそも周辺に外国人居住者が殆どいないが、排斥しようとする感じは全くない
特に問題なく、国籍の異なる方が共生していると思う。
特に問題として話題となることを聞いていない為
子どもが小学校に通学している時、多くの国の友達が通学していて、子どもたちは偏見を感じることなく仲良くしている姿を見たから。
社会的な会合でも外国人を受け入れる。ただし、日本語ができないと難しいことが多いが。
訪日、在住、多くの外国人がおり、特にそのことでトラブルが発生しているとは聞いていない
外国人のアパートの入居者に声をかけた時、素直に話ができる。文化的違い、生活ルールの違いがあるが、理解し認め合える。
近所友人に外国籍の方もいるが地域の行事など参加されており、文化に馴染もうと努めている。小学校でも文化の違う子が増えておりみんなで協力しながら生活が送れている。
三軒茶屋にはテンプル大学のキャンパスがあり、三軒茶屋周辺でよく外国人を見かける。区内で取り組まれている日本語教室を見かけるし、区報など日本語を母国語としない人向けに理解しやすい工夫がされているのを見かける。
国籍文化が違うことを特に意識してないから。
行政サービスにおける外国人対応を見て
三軒茶屋の生活工房で世界の色々な文化を知る・楽しむイベントがあり、母親と行ったのが印象的だ。子どもの頃、そのような体験をさせてもらったことで、文化や言葉が違う国の方を理解することやともに生きることを教えて貰ったように思う。
子どもの通っていた公立小中学校や近隣の方々から外国籍の人に対する差別的言動を聞いたことがほとんどないから。
時代背景に伴い多様性を受け入れる観点と同じように、多文化共生というものも受け入れられているような環境にあると思うから。

【Q1.(A) 「区内において『多文化共生』が進んでいると思いますか」という質問に対し、「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」を選択した方の回答】（全 344 件のうち一部抜粋）

多文化共生という言葉を全く聞かないから。
多文化理解に対するイベントや催しが少ない。多文化や多言語に触れたいが、安心して行けるコミュニティが見つからない。区の情報紙にもっと載せてほしい。
区内全体ではわからないが、同じマンション内ではルール等理解してもらうことに苦労する。
日本語が話せない外国籍の人が多い。
文化が違うということは、育ってきた環境が違い考えも違う。認められないことも多くあると思う。対等な関係は難しい。
近所に外国人居住者が顕著に増えているのは生活していてわかるが、交流もないし実態も知らない。
・役所からの案内等で英語対応が十分でない。 ・娘の小学校でも、外国籍で日本語が話せない児童がいるが、先生や周囲の対応が十分ではなく孤立しがちである。
世田谷区に住んでいる外国人との交流の場がない。「交流の場」を世田谷区のイベントでやってはどうか。
普段国籍、民族が異なる人を見かけることが少なく、それはコミュニティがまだ分かれてるということだと思うから。
学校や地域で、些細な差別や偏見はあると思います。また、住民として交流の場、関わり合う場が少なく、遠巻きに外国の方を見ているような雰囲気があります。
外国人が急増し多国籍化している現状に対して、町内会や自治会などの地域活動への参加、日常的な近隣トラブル（ゴミ出し、騒音など）の解決において、まだ日本人住民との間に距離や摩擦が見られるから。
外国の方が住んでいる（持ち家、社宅など）が、交流はありません。特にトラブルもなく、地域での交流もないため、多文化共生とまでは言えないと考えます。

【Q1.(A)「区内において『多文化共生』が進んでいると思いますか」という質問に対し、「わからない」を選択した方の回答】（全 610 件のうち一部抜粋）

外国人と町で出会う機会は増えているが、共生しているかどうかはわからない。
住居の近くに他国籍の方がいない。他国籍の方々と触れ合えるようなイベント・機会がない。
身近に感じたことがないから。
” 対等な関係 ” というときに言語の壁がまだ大きいから。
外国籍らしい方は多く見かけるが、多文化共生として進んでいるかどうかとういこと、そのような面を見ることがない。
全く情報がないから。
「多文化共生」という言葉を初めて聞きましたのでこのような事について考えたことはありません。しかし多文化共生は良いことだと思います。
文化的違いのある方々との接触が全くないので。
世田谷区としての「多文化共生」の取組みの現状を知らない
近くにも外国の方が住んでいますが関わりがないので多文化共生が進んでいるかは分かりません
多文化共生を体験する機会が現状の日常生活ではないから。
小売店の従業員さんが外国人というケースにはよく遭遇しますが、それだけで多文化共生を語れるとは思わないから
そもそも世田谷区がどういった取組みをしているのか分からない
外国の方々をよく見かけるようになったが、接点がほとんどない。区役所からの情報が少ないので行政の取組みが分からない。
考えた事がないから。
多文化共生という視点で捉えると実生活ではあまり感じられないため
そう思う、そう思わないのどちらとも感じる機会がない
世田谷区が実施している多文化共生の施策を知らないため。
普段生活している中で、多文化共生について感じたり、考える場面がないため。
交流がないのでわからない

【Q2.(A)「外国人等の地域活動への参加が進んでいると思いますか」という質問に対し、「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」を選択した方の回答】（全 202 件のうち一部抜粋）

活動場所で見かけるから
お祭りなど外国人の姿が増えていると思う。
地域のお祭りに参加している外国人や下北沢駅にてゴミ袋を持っているボランティア活動をする外国人を見たことがある。
おまつりなどでは外国の方のお店が出店しているのを見たことがある。
年々外国人の地域活動への参加率は上昇しているような傾向にあるから。
児童館で外国人ファミリーが集う機会が設けられていたり、コミュニティ形成の場を提供していて素晴らしいと感じます。
ある程度そういう環境はできていると思います。できれば、外国人に対してもう少し積極的な情報発信があっても良いと思います。
地元のイベントごとに、スタッフとしてもお客さんとしても参加している人が見られるようになってきたと感じたから
地域活動に外国の方を複数見たことがあり、自分の地元より多いと感じる。
子育て世代を中心に、よく見かけるから
「外国人等の地域活動への参加」となると、浮かぶのは地域のおまつりへの参加。自分も参加しているためそう思うのだと思う。ただ、防災訓練やボラ活は自分が参加していないため、そもそも詳細の状況がわからない。多文化共生を感じていくには、自分自身も社会生活や地域生活に関わっていく必要があると感じた。
ボランティア活動に参加してくる外国出身の方が以前より増加している。ただ、見学にはきてくれるが、正式参加には至らないなど定着しない方が多く、残念に思っている。

【Q2.(A)「外国人等の地域活動への参加が進んでいると思いますか」という質問に対し、「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」を選択した方の回答】（全 532 件のうち一部抜粋）

自身の周囲では、文化交流をする人を見たことがない。
個人的には挨拶ができていますが、地域の集まりに参加しているのは見たことがない。
地域活動への参加が伝わっているのがわからない。回覧板なども英訳されていない。お祭りに行っても見ているだけで加わっていない。英語などのメッセージを増やすとよい。
外国人の方にあまり情報がないように思う。
イベント案内等が、まず外国語を入れてない
日本語に苦手意識がある外国人は地域活動に抵抗を持っているので…例えば PTA とかも、やりたいと思うけど言語の壁があって…ご迷惑をかけるのではないかと…みたいな人は多い
そのような場面に出会ったことがないため。取組みとしては良いと思う。
防災訓練等でも見ない。
自治会において、外国人が積極的に活動しているイメージがない。
参加したくてもできない（日本語のみでの場合がほとんどなので）。英語でのアナウンスやサイトがあれば良いと思う。
地域活動にときどき参加するが、外国の方々の参加をほとんど見たことがない。 おまつりなどのイベントではよく見かける。継続的な地域活動と一過性のイベントの「参加」のギャップがあるように感じる。
外国人住民はいるが、お祭り以外のイベントに参加しているところは見たことがない。
自分がおまつりや防災訓練等に参加していないので
お祭りの様な不特定多数の人が集まる楽しいイベントはともかく、防災訓練やボランティア活動などの地域に根ざした活動に外国籍の方が参加しているのを見かけた事はありません。
関わっている姿を見ることが少ないから。自分がそういう場に参加することが少ないから。
当の日本人ですら、参加割合が減っているため。

【Q2.(A)「外国人等の地域活動への参加が進んでいると思いますか」という質問に対し、「わからない」を選択した方の回答】（全 898 件のうち一部抜粋）

私もあまり参加していない。実態がわからない。
自分自身が地域活動に参加できていないため。
私自身が地域のお祭りなどのイベント等に参加していないから。
外国人の地域活動の参加を見聞きしない。
自分がそのような活動に参加することがないので、外国人の活動を共にすることはない。
外国人の前に、まず日本人の参加が進んでいない。
特に意識したことがないから。
世田谷区は外国人が多く住んでいることは感じられるが、日常生活において交流や会話を持つ機会もないため。
全く情報がないから。
防災訓練・ボランティア活動に参加したことがない。
地域のイベントに参加する機会がない、イベントのあることも情報がなくわからない
自分自身が地域社会に参加・活躍できていない状況。今後、自身が参加した時に外国の方を積極的に誘いたい
地域での活動に外国の方がいるかどうか意識したことがないから
外国人、日本人と区分けして認識していないので、わからない
判断できる状況や情報に接する機会があまりないから
祭り事では見かけるが、外国人がボランティアをしている姿は見た事がない。 また、そもそも何が区で何が行われているかわからない。
私自身が地域活動に参加機会が乏しく、世田谷区の取組を知りませんでした
そのような地域活動に参加したことがないので、どの程度参加されているのか知らない

【Q3.(A)「外国人等に対する偏見や差別が減少していると思いますか」という質問に対し、「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」を選択した方の回答】（全 475 件のうち一部抜粋）

外国人等に対する偏見や差別を見たことがない。
飲食店など街の様子をみて、地域に溶け込んでいるように思うから。
公立中で外国籍の生徒を受け入れ、日本国籍の生徒と共生していると感じる。
日々生活している中で、彼らに対して基本的には対等だと思っている。
世田谷区にいるときに、外国人への偏見や差別は聞いたことがないから。
以前に比べ、日本人が外国人に対しあまり特別な反対をしなくなった。
子どもが小さいうちから身近に外国にルーツを持つ子たちと出会い、共生が当たり前の生活をしている子が多いように感じる。
まわりに外国籍の方や、家族が増え、共に生活していくうえで、以前より、いろいろな人種や性別・思考など認め合えるようになってきたと思えるから。
人手不足や人口減少で、外国人の力も必要と感じるようになり受け入れたい気持ちもあるので、お互いを理解しなければと思っているから。
外国人が珍しくなくなったから
世田谷区のイベントは参加したことがないが、日本の国全体として多文化共生社会の方向に進んでいると感じるため
これまで世田谷区内で暮らしてきて、直接的な外国人に対する差別を見かけたことはないから。
外国の方が増えたまちで日常生活を送ることで、日本人側も慣れてきたように思うため
地域の交流会を通じ差別を無くす活動をしている。
多文化共生に関する啓発活動や交流イベントの開催により、外国人等への理解は以前より深まっていると感じます。一方で、偏見や差別が完全になくなったとは言えず、引き続き取組が必要だと思います。
国際メッセのイベントを通し、今まで知らなかった国や地域に対し、理解を深めることができたので。
多言語での絵本の読み聞かせイベントに参加した際には、様々なルーツの方と親子で交流を楽しむことができました。区外に住んでいた時にはこのような交流の機会は無かったので、こうしたイベントを通じて互いの理解を深められているのではないかと思います。

【Q3.(A)「外国人等に対する偏見や差別が減少していると思いますか」という質問に対し、「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」を選択した方の回答】（全 273 件のうち一部抜粋）

偏見や差別の解消といった積極的な取組みに感じられない。
言葉が通じない、理解できない、会話ができないから交流が少ない。
言葉が通じないことで、コミュニケーションが少なくなっていることがある。買い物や病院などで。
外国人が以前より増えた分、偏見や差別が増えたような気がする。
特に問題が起きているわけではないが、あまり変化が感じられない。
自分の生活圏内に外国人と関わること見かけることが皆無なため、偏見差別について考える機会がない
日本での外国人の行動が問題視されてる背景があるため、全ての外国人ではないが、やはり、文化の違いを思い知らされるニュースを耳にする為
交流イベントを開催している情報がそもそも流れてこない。自らそういった事を調べる人は既に興味関心を持たれた方なので、そうでない人への案内が不足しているのでは。
過去災害記録・振り返り

【Q3.(A)「外国人等に対する偏見や差別が減少していると思いますか」という質問に対し、「わからない」を選択した方の回答】（全 878 件のうち一部抜粋）

提供側が積極的に歩み寄っても、当事者の対応が不明瞭であるとよくわからないという印象になってしまう。
偏見・差別があるのは知らない。ただ、日本語が読めない人たちが困ったときに聞きに行ける場所を増やすとよいと思う。

偏見や差別を区内で見たことがないので、増減がわからないため。
日本人がそう思っているても当の外国籍の人々がどう感じているかが問題だと思う。
そもそも偏見や差別があると感じたことがないので。
イベントへ参加したことがないので。また、以前の偏見や差別状況を知らないため。
偏見や差別は、受け手である外国人の方の意見を聞かないと何とも言えないため。
毎日の生活の中で外国人の方と関わることはない。ニュース等で偏見、差別の話は耳にするが、区内であるのかわからない。
偏見・差別が減少するか否かの根幹は、個人がどう捉えるかという価値観なので。その個人に向けて区が様々なイベントを行って理解を促すことは意味がある
元々どの程度差別意識が存在していたか分からないため。
区で行われている交流イベントに参加したことが無いから
外国人だから日本人だからという考えで生活していないのでわからない。
イベントが行われているということを知らない。もっと周知するべき。わかればぜひ交流イベントなど参加してみたい
身近で起きた等の話は聞かないが、かといって「無い」と断言はできないので。
このようなアンケートを実施していることが、偏見や差別などの意識を考えるキッカケとして働いていると思うが、実際の状況はわからないから。
どのような偏見・差別が現在あるのか、逆にどのようなイベントで何を解消しようとしているのか、見聞きしないため。

【Q4. これまでに、外国人住民とのあいだで困った経験や戸惑ったことがあった場合、その内容としてあてはまるものを選んでください。〔「その他」で記載があった回答〕〕（全 91 件のうち一部抜粋）

区内コンビニで、外国人の従業員を見かけるが、言葉が通じないことが多い。
隣家の解体作業の際、トラブルに対応した相手の業者の作業員が区外在住の外国人であったが、最終的にはうまく解決した。
生活の中では、外国人住民と項目にあてはまるような距離での接点がない。
引越しの手続きができていなかった。周りの人たちが助けていた。
日本の暗黙のルールはまだわからない事が多いので伝えてはいるが、書いてあればもっと守れていると思う。ルールを「守れない」よりもただ「知らない」方が多いかも。
身近に外国人がいないのでわからないが、テレビ等のニュースで、ゴミの出し方他が問題になっている。
今まで三名の外国の方に部屋を貸したが、全く問題はなかった。
言葉の壁
日本語も英語も話せない、翻訳機を使用しても会話が成立しなくて困っている。
何となく話かけにくい
区役所で外国人対応に非常に時間がかかっており、待ち時間が長くなった。別窓口を考える時期ではないでしょうか。
小さなお子さんを見かけるのですが、就学について心配しています
金銭の価値観が異なっていると上手に交流できない事もある。宗教上の理由も難しい。

【Q5（A）. 今後ボランティアとして、外国にルーツを持つ方へどのような支援をしたいですか。〔「その他」で記載があった回答〕〕（全 63 件のうち一部抜粋）

私の仕事で役立つことがあれば、支援に通じるならば行いたい。
書道を教えることなどしたい。
大学受験が終わったら参加してみたい。
英語があまりできなくても支援できる活動

外国語は全くできないが、日本語での会話をしたい方の話し相手にでもなれたらと思う。
防災タブレット・パソコンを学習する。タブレットの内容を補足するボランティアの存在が必要。
住み始めたばかりの方の生活の立ち上げサポート
ゴミ出しルール等
仲良くしたい
多文化共生というのであれば、支援ではなく一緒に地域の一員としてどう巻き込むかということを考えるのが重要だと思います。
日本の文化や歴史を教えたい
子供との触れ合いの機会にしたい（異文化交流の場）
スポーツなどの交流
英語が話せないけど、それでも役に立てることがあればと思います。

【Q6.「多文化共生」について、ご意見等がありましたらご記入ください。】（全709件のうち一部抜粋）

あくまで日本における「共生」なので、まずは日本における生活習慣になじんでいただきたい。
こういう活動はもっと日本全体に広がれば良いと思う。
国籍、民族等に限らず、多様な人がお互いを分かりあい、生活しやすい世田谷区であってほしい。
私の友人（外国人）で世田谷区ではないが、外国人向けに災害時などの行動についての講習などがあるので参加しているとのこと。
特に介護施設や病院の掃除やごみ出しなどのサポートは外国人労働者により非常に多国籍だ。一方で、文化の違いや十分な教育が受けられないという理由で不良になったり、生活がうまく回らないことが多いかもしれない。今後、東京を日本人だけの日本の価値観だけでは豊かな地域は作れないと思う。そういう意味で行政の存在は非常に重要だ。ボランティアなどではいつかお手伝いしたい。日本人、外国人というくくりではなく、世田谷人みんなが幸せなまちづくりを目指してください。
お互いに歩み寄る姿勢が大切だと思うので、行政が入区の際の声かけや指導をしてあげるとよいと思う。
分譲マンションの購入については、購入資格の厳格化を早急に整えていただきたいと願っている。
外国に住んでいた経験で、地域のイベントの参加情報がもっと簡単に入った気がする。メッセージボード等を利用して知らせる機会を増やすとよいと思う。
外国人住民が世田谷区で安心して暮らすため、行政のサポートも大切だが、日本人住民の意識を変えていく必要もあると思う。互いの常識を押し付けあうのではなく、歩み寄れるような社会になるために日本人住民が外国人住民への理解を深められるような機会がほしい。
外国人に対しては、日本人の特性、距離感、マナーを住む前にしっかりと理解してもらえるように伝える必要があると思う。理解したうえで住んでほしい。
居住している地域のルールはしっかりと理解し、行動してほしい。
会話ができない人たちでも通訳の道具が手軽に使える機会を作ることが必要。
今の生活の中で「多文化共生」に接点が皆無なので考えが及ばない。
ある程度言語が話せないと、なかなか難しいところがある（ルールなど）犯罪などが起こらないようにしたい。
多文化共生自体は必要だと思う。ただし、社会の健全性を維持する必要あり。
広報などでイベントや日本語を教える場など知らせてほしい。
「多文化共生」は必要であり、進んでいくことを願う。
文化の違いによる違和感を感じることは仕方がないと思う。それを排除の方向ではなく、共生の方向に進めなければならないと思うので、世田谷区の「多文化共生」の活動を支持する。
治安が悪くならないようにしてほしい。
多文化共生は今後の日本に必要となるが、日本での多文化共生となるので、日本に居住、暮らしていることを前提として進めなければ分断を生む可能性もある。

私の身の周りには外国人等はいらっしゃらないため、外国人住民の方々とのトラブル等の経験はないが、他区の方のお話を聞くと困っていらっしゃる方もいるようだ。多文化共生の取組みは益々重要になってくると思う。
「多文化共生」は基本的には正しく良い考え方だと思うが、それには日本に居住する外国人が適切な人・考え方・マナーを持っていると思える必要がある。個人レベルの交流・付き合いだけで共生を求めるのではなく、まずは区の行政として地ならしをしていただきたい。
友達になったら自然と交流すると思う。知り合いでもない日本人に対して何も思わないのと同じように、知り合いではない外国人に対して何も思わない。
この問題は今後の日本でも避けることのできないテーマの一つであり、積極的に推進すべきと考える。
見た目で外国人だなどと思わないで生活するよう心掛けることが大切と思う。日本に住んでいる間は、日本語で話してほしい。
外国人からの転入届があった際に、日本の習慣、ゴミ出しの方法等に係る冊子を渡すようにすればよいと思う。
共生であるので、対等な関係を十分に配慮して推進していくことが肝要と思う。
多文化とは必ずしも日本人 VS 外国人でないと思う。同じ日本人でも老人と若者という違いがある。コミュニティに属する皆が、暮らしやすく助け合えるような環境づくりができれば良いと思う。日本人が自国以外の文化を学ぶことも必要と考える。
治安や秩序といった不安もあるが、互いの理解が深まりポジティブな未来になるよう、よりよい世田谷区になっていくことを願う。
家を作っている現場等で外国人を見かける。少し怖いと思ってしまう自分もいる。失礼だと思うが少し感じてしまう。理解が進んでいるようで進んでいない。でも、せっかく日本を選んでくれたのだから良い印象でありたい。どうすればよいか分からない。
区から外国人に対し、日本の生活習慣に対する広報をもっとすべきである。
日本のルールを守っていただき、仲良く暮らしていただきたい。
今後、住民が増えてくる場合、言語が通じず苦勞することはお互い避けたい。いつでも相談できる窓口があると良いと思う。
日本の方はもちろん、外国の方にとっても住みやすく安心安全なまちであればいいなと思う。そのためにはやはりルール（ごみの出し方、公共の場の過ごし方、etc.）は理解し、守っていただく必要があると思う。
地域行政で努力することは大切だと思うが、国レベルでもっとしっかり外国人政策を立てないと良くならないと思う。
犯罪がないことを祈っている。どうしても文化、宗教の違いで理解できないことがあると思う。しっかり理解共存できることを願う。
区の取組み活動内容を把握できていないので、関心を持とうと思う。楽しいイベントなどを通じて交流、共生できればよいと思う。
海外の方々の中での（日本における）多文化共生の実態も知りたい
日本に滞在する期間が短い外国人は日本の生活すべてに戸惑っているようでした。日本人と知り合いになったり、集会に出席したりすることで少しずつ日本に慣れてほしいと思いました。 何よりも日本及び日本人に親しみを感じている人が多いので、AI や日本語訳の機械を使って日本人の集まりに誘ってみるのも良いと思いました。
まだ身近に感じていないところが正直な思いです
日本は益々少子化が進み外国人の助けが必要となるが来日時に日本の習慣をよく説明し誤解がないようにすること
「多文化共生」と言っても他国の文化を受け入れるだけになっている。日本の文化を正しく伝えられる、または受け取っていただける関係性があって初めて、「共生」という言葉が使用できると感じた。
日本人、外国人の垣根をこえて、楽しい街づくりができるよう心がけていきたい。
外国語での案内をもっと増やしたらよい
日本人同士でも Q4 のような事からのトラブルがあるので、多文化共生というか、同じ「人間」としてお互いに理解をしながら安心・安全に生活できていけたらより良い関係になると思います。
日常は良いと思います。非常時はどうかポイント。たとえば同じ避難所で恐怖を覚えないか。こうならないためにも、日常でいかにコミュニケーションをとるかが大切。

以前は、日本人と結婚したから住んでいるという人が多かったので、積極的に地域に馴染もうとしているように感じたが、最近は外国人の集団が多く、自分たちのルールで生活しようとしている部分が少なからずあるので、地域のルールを伝える努力が必要だと思う。
区の活動をもっと知らせてほしい。
多文化共生は、今後重要なことと思います。世田谷区の取り組みをわかりやすく目に見える形で広報啓発してください
世田谷区に移住される際にゴミ出しの仕方や日本の常識などを学ぶ機会と、その後のフォローの場があると良いと思う
多文化共生の理念は素晴らしいと思う。偏見や差別は言語道断だが、実際問題としてトラブルの多くは、当地のルールや慣習等を知らない事から起きると思われるので、郷に入っては郷に従えの通り、まずはそれらの周知から徹底すべきだと思う。
以前、習い事で会ったお子さんの保護者さんが日本語が話せず、習い事の説明などが上手く伝わらなかった事がありました。外国籍でお子さんがいるご家庭は、学校や職場だけではなく生活全般で気軽に使える窓口があったら助かるのになと思いました。
世田谷区に限ったことではありませんが、最近の排外主義の蔓延に憂慮しています。子どもの頃から外国にルーツのある人々と交流する経験が大切だと思います。
多文化カフェなどのイベントがあるといいと思う。英語などの語学ができないとボランティアで参加できないと思っていますが、そうでないなら（カタコトの英語くらいでも大丈夫なら）交流に興味はある人も多いと思うので、そういう情報を今後広めてほしいです。
日本人が外国人に一方的に教える、サポートする、という一発通行ではなく、日本人が日本語を教える、外国人が外国語を教える、といったように、あくまでフラットに、双方向でやり取りできること、これこそが共生だと思う。
偏見や差別が生まれるのは、ただ「知らない」というだけだと思います。日本人同士でも同じです。知ろうとすること、分かろうとする気持ちが解決への一歩です。行政がサポートしてくれるのは心強いです。
大切なことなので、区としての推進、サポートを期待します。
外国の方の文化への理解は深めたいと思うが、我々の生活が脅かされるような変化や対応は賛成できない
地域差はあると思うのですが、区としてはまず、どの立場の方にも寄り添う情報発信が必要だと思います。
様々な方が日本に来られる中で、教育現場などで求められる言語は英語のみではないことを踏まえた対応が必要であると感じる。また、標識や案内板などまだまだユニバーサルではないことも多く、少しずつでも前に進める必要があると感じる。
知らないことでお互い疑心暗鬼になるので日常的な対話ができる機会があるといいと思います。
多文化共生について全く同意するが、日本文化を蔑ろにするような多文化共生は意味がない。お互いを尊重することが大事。
普段の生活で何気なく多文化共生について情報を得る機会が少ない。町内掲示板にもっと積極的に情報を掲載してはどうか。
多文化共生は良い考えであり素敵だと思いますが、他地域での問題などに関する報道を見ていると、多文化共生の名の下に外国人への優遇が見られると思います。(罰せられにくい、注意されにくい、結果として許されているように見とれる) 裏を返せば、その地域に以前から住む人への配慮や権利がないがしろなされてしまうことが起きやすいと感じています。 世田谷区においては、そう言ったことが起きないように、外国人・日本人の双方を見て、どちらも平等に扱い、本当の意味での多文化共生社会を作っていただけるよう、お願い申し上げます。
とても大切な事だと思います。地域に交流の場所があるのかもかもしれませんが、宣伝、お知らせが無い気がします。
他国から来た方は日本の慣習に溶け込む努力をすべきだし、受け入れる側も、外国の良い部分を理解し合えるお互いのコミュニケーションが大切であると考えます